

きょうの  
テーマ

卒業アルバム 一瞬で写真選び

# 生体認証 広がる活用



学校の生活や行事を写真でまとめた卒業アルバム。手にする卒業生のために、先生や保護者が苦労して写真を選ぶのが当たり前でしたが、今はワンクリックで済んでしまう便利なサービスがあります。どんな技術が使われているのでしょうか。

## 生体認証の主な活用例

顔	テーマパークの年間パス入場
指紋	スマートフォンのロック解除
静脈	銀行などのATM
虹彩	イギリスの空港での出入国管理

このサービスは、インターネットに接続したパソコンを通じて学校や写真館がつながり、みんながなるべく公平に写った良い写真を自動で選んでくれます。東京のIT企業

自動で選ばれた写真で構成された卒業アルバムのページ。東京都目黒区のエグゼックで

## 知ってこ用語

**生体認証** 人の体や行動の特徴から本人を特定する技術。主に顔、指紋、手や指の静脈、黒目と白目の間にある虹彩を使います。ピラミッドを造る人が仕事をした確認のため指紋を取ったのが、最も古い利用例とされています。

「エグゼック」が開発し、小中学校を中心に利用が広がっていて、全国で千校を超えました。

事前に顔写真を登録して目、鼻、耳の形など顔の特徴を情報にします。そして、写真館に保存された画像データを一枚ずつ照合し、その顔がどこにあるかを探し出す仕組みです。

横顔など顔の一部でも大丈夫。小学1年生の幼い表情でも、6年生の写真を登録してピタリと当てます。エグゼックの担当者は「100%正確ではないが、マスク姿はもちろん、一卵性の双子を見分けたこともある」と話します。数万枚の写真を照合し、選び出すのにかかる時間は10〜30秒。アルバムを作る人も、もう卒業生も幸せになれるのが人気の理由のようです。この仕組みには「顔認証」という技術が使われています。

生体認証は「知ってこ用語」の1つで、この10年で劇的に進化し、さまざまな場面で活用が広がっています。表裏の鍵やICカードは紛失や盗難の心配があり、パスワードを覚えておく必要がありますが、生体認証は持ち運びが不要で危険も減らせます。近年は偽造した指紋や顔写真との見極めなど、なりすましを防ぐ研究が進んでいきます。東北大の伊藤康一准教授は「生体認証はサービスの広がりとともに進化してきた。日本のメーカーは、歩きながら顔や静脈で認証する技術を開発中。手ぶらで駅の改札を通れるようになるかもしれない」と話し、今より便利な社会が来ると予測します。